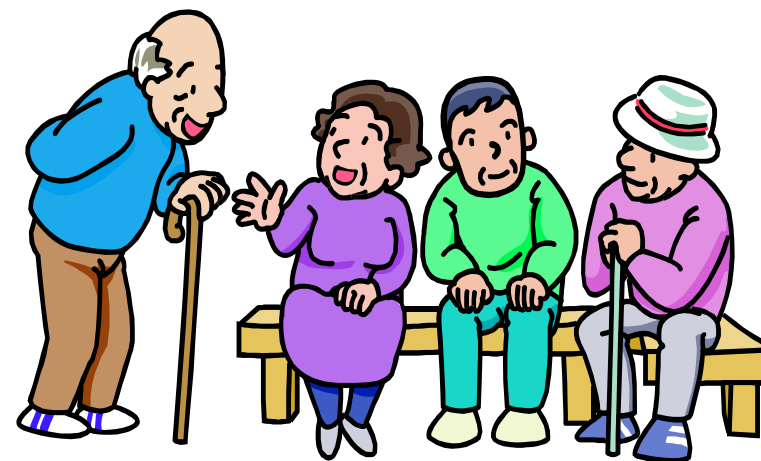


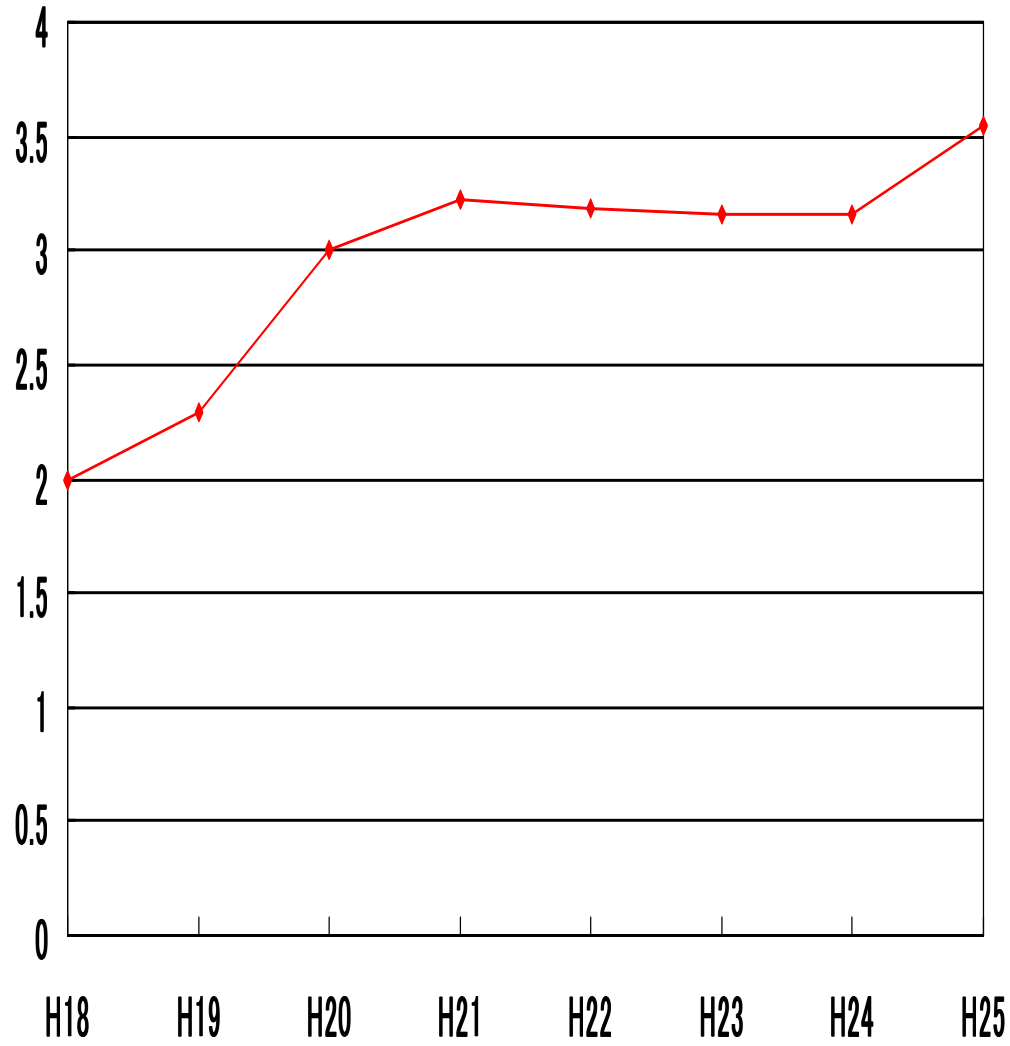
# 新しい理念を胸に・・・



グループホーム  
オカリナ



# 要介護度推移



25年度介護度別内訳

要介護度1 0人

要介護度2 2人

要介護度3 2人

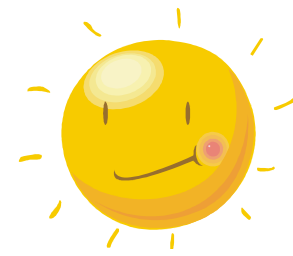
要介護度4 2人

要介護度5 3人

# ユニット1 理念

---

- 1人1人の価値観を大切にする
- おいしい物の提供
- 笑いのある環境づくり
- 行きたいときに外出できる
- ケアの統一
- 季節感を大切にする
- 職員がゆとりをもったケアを行う



## 学術研究行動計画の流れ（月1回職員会議で行う）

第1回（11月） 新しい理念の作成の提案と  
スタッフ間の理念に対する意見交換

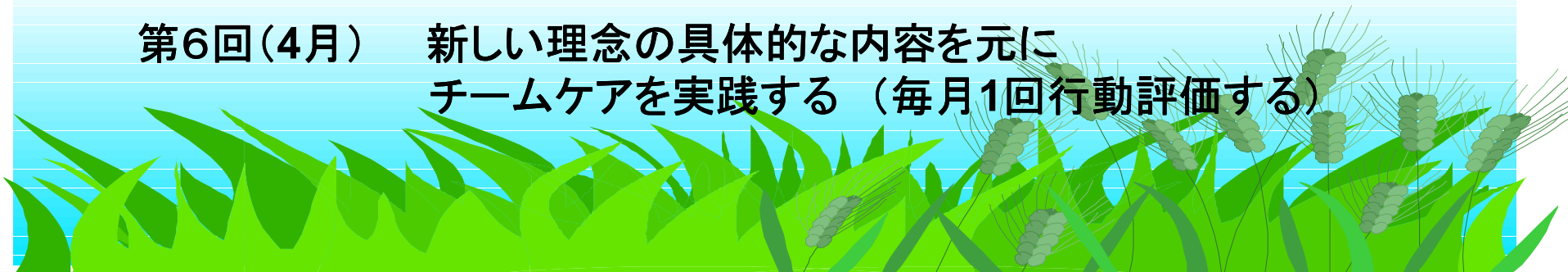
第2回（12月） 利用者様家族へのアンケート配布  
利用者様への聞き取り調査

第3回（1月） 全ての意見の集計結果に対する  
ミーティングでの意見交換

第4回（2月） スタッフ全員での理念の作成  
理念の更に具体的な内容を各自考  
え、次の会議までに提出する

第5回（3月） 課題提出 意見交換 内容決定する

第6回（4月） 新しい理念の具体的な内容を元に  
チームケアを実践する（毎月1回行動評価する）





- **理念**とは・・・

- 1 理性によって得られる最高の概念
- 2 俗に、事業や計画などの根底にある根本的な考え

## 物事についてこうあるべきだという根本の考え

の事です。

ある物事について、好き嫌いの感情や、快不快の感覚を抜きにして、道理を踏まえて考え、判断した結果、導き出されたもの(=概念)、のことです。いわゆる、「一般的・論理的な定義」を指すことが多い「環境に配慮する」「採算を第一に考える」という現実的なものから、「夢をカタチにする」「未来を切り拓く」といったポリシーのようなものまで、さまざまです。

○福祉の理念は、まず、「人間らしく生きること。生活すること。」を保障することです。1人1人が人間の生活に値する生活を営むことが、きわめて大切なことです。それを踏まえた上でパンジーの掲げる理念とは・・・???



# 職員の意見

## 理念に対する今の現状

- 重介護者が増え特定の方にばかりにケアの比重を置くようになってしまった。
- スタッフの手が足りないと感じるようになりゆとりがない。
- 外出が困難
- 自分の思いややりたい事がなかなか表現できず自己決定出来る人が少なくなった。思いや希望が分からない
- 家族の面会・行事の参加の減少
- スタッフ主導でないと殆んどの方が生活パターンを自分で作れない
- 自分(スタッフ)に余裕がなく笑いが無い
- つい強い口調・態度になってしまう
- ケアの統一といっても他のスタッフのケア方法が分からない
- ゆとりを持ったケアを行うとは具体的にどのようなものを言うのか分からない

## 普段ケアで心掛けている事

- 個人的な感情を表に出さない
- 重度化している中でも自立支援を心掛けている
- 家族との関係作り
- 利用者とのコミュニケーション
- 声のトーンを心掛けている

# 家族来所数の推移

## ●家族来所回数 (通院付き添い含む)

平成19年8月～平成20年2月  
117回 月平均**19.5回**

平成23年8月～24年2月  
112回 月平均**18.6回**

平成25年8月～26年2月  
78回 月平均 **13回**

## ●家族会参加人数

平成19年 入居者9名 内 **6家族**  
参加

平成23年 入居者9名 内 **4家族**  
参加

平成25年 入居者9名 内 **3家族**  
参加

※23年より家族会開催  
年2回→1回に変更

要因として考えられるものに家族の  
高齢化や  
入居者の重度化もあるのでは…？  
(来ても家族と認識できない)

# 利用者様・家族の声

## ●ご利用者

- いろいろな事をしてみたい
- 自宅での生活は大変だからこの生活には満足している
- 身体の状態がこんなだからやりたい事があってもできない。身体が自由がきけば自分の故郷に行ってみたい。
- 今出来る事をやらせてもらっているので満足している。
- 皆で集まっているのが良い。集団生活の大変さは分かっていた。
- 今一番落ち着いた生活ができています。
- 足が弱ってきているので外出して景色をみたり散歩したい
- のんびりしたい
- TVが好きだから部屋で寝てばかりいるけどそれが楽しい。幸せ。好きな事できて苦労はないし。
- 希望・要望はない

## ●ご家族

- 重介護なのに看ていただき感謝している
- スタッフが辞めずに長い人ばかりなので安心している
- 本人に合った楽しみを見つけてほしい
- 本人の状態を考えると退所させられないか不安。最後まで看ていただきたい
- スタッフがいつも大変そう。忙しそう。スタッフを増やせないのか
- 家だと寝てばかりなので色々な人と交流してほしい



# 職員の意見

- ・飾りをしてしても施設っぽい作りがのこる
- ・理念を具体的に分かりやすくしたほうがいい
- ・家族との信頼関係の強化
- ・自立度が低下している中で利用者が出来る「役割」を持ち残存能力の維持が不可欠
- ・個別ケア(寄り添ったケア)を重視する
- ・季節感を大切にする
- ・スタッフ同士が助け合いスタッフ自身が心に余裕を持てる環境づくり(業務の見直し)
- ・スタッフが病気の感染源にならない様に体調管理の徹底

# ①家庭的な雰囲気と季節感を持ち ゆとりある空間つくる

## 具体的な行動計画

- 季節の飾り付けの工夫
- 季節の食材を取り入れる
- 季節の行事を行う
- 個々の生活リズムを尊重する。
- 行事をできるだけ取り入れる(車椅子でも可能なもの)
- 時間に縛られない

## ②家族や地域との関係を深める

### 具体的な行動計画

- ボランティアの積極的な受け入れ・活用
- 家族と連絡を密にとる 信頼関係の構築
- 何でも相談しやすい雰囲気作り
- スタッフと家族のコミュニケーションを大切にする
- 施設周辺の団体との関わりを深める(小学校 保育園 公民館サークル等)
- 入居者の人物家系図を作る(入居者や家族とのコミュニケーション作りに役立つかも。入居者の事をもっと深く知れる。話題にもなりやすい。)

### ③個々との関わりを重視して持っている力を自然な形で引き出せる環境を作る

#### 具体的な行動計画

- 日常生活の動作の中で立位訓練などを行う。  
(意図的に動作を増やす)
- 入居者個々の状態を把握する(アセスメント)
- スタッフが残存能力を見極める力をつける
- ケアプランに添った介護
- スタッフと入居者の信頼関係を作る
- ストレスや強制を感じるような表現は避けやる気になるような表現言動を行う

## ④スタッフ1人1人が介護のプロとしての自覚を持って行動する

### 具体的な行動計画

- スタッフ自身の健康管理の徹底（感染源の元にならない）
- 自立支援の立場に立ったケアの提供
- 利用者への態度 言葉遣いへの配慮
- 何でも相談出来る雰囲気作り
- 研修や勉強会の積極的な参加
- 個人情報流出させない
- プライバシーに配慮して個人の尊厳を守る
- チームケアで行動する



# オカリナ理念

- ①家庭的な雰囲気と季節感を持ち  
ゆとりある空間を作る
- ②家族や地域と関係を深める
- ③個々の関わりを重視し持っている力を  
自然な形で引き出せる環境を作る
- ④スタッフ1人1人が介護のプロとしての  
自覚をもって行動する

## ～ これからのオカリナは ～

- 日常的に理念を認識してサービス提供を行います
- スタッフが一丸となり質の高いケアを提供して行きます

